

# 事務事業評価シート(平成28年度実績)

担当部課等名	福祉保険課
まちづくりの方向性	-
重点的方針	-
分野別方針	1 福祉・健康・保健
実施計画事業	社会福祉関係事業(No.1)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	社会福祉関係事業	99.5	B
02			
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会への町委託事業や補助事業の精査</li> <li>・社会福祉協議会職員の資質向上と育成</li> </ul>		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	説明 社会福祉協議会は、町の地域福祉を推進する上での核となる事業を実施している。今後も益々そのニーズは増すことから、有効的、効率的なサービスを念頭にした社会福祉協議会との連携は、今後も必要不可欠である。	

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	今後ますます加速する少子高齢化等に向けた地域福祉施策を展開するにあたって連携の方法等を改善しながら事業を進めていく。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	福祉施策に関して、町、社会福祉協議会、社会福祉法人、民間事業者、地域、家族等がどの部分を担うのか整理をする中で、町と社会福祉協議会との協力体制や連携の内容も決められてくると考えられる。いずれにしても、社会福祉協議会の果たす役割は今後も重要であると思われるので、連携の強化を図っていく必要性は高いと思われる。		

# 事務事業評価シート(平成28年度実績)

担当部課等名	福祉保険課
まちづくりの方向性	-
重点的方針	-
分野別方針	1 福祉・健康・保健
実施計画事業	福祉サービス情報一元化事業(No.2)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	福祉サービス情報一元化事業	-	C
02			
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一元化内容の整理検討</li> <li>・一元化の手法の検討</li> </ul>		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		C
	説明	福祉サービスを利用しやすくする努力は常に行っていく必要がある。関係機関と連携し内容を検討していく。	

方向性							
<input type="checkbox"/>	① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	福祉サービスを利用しやすくする努力は常に行っていく必要がある。関係機関と連携し内容を検討していく。						

◎評価者[担当主管部長]							
<input type="checkbox"/>	① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	福祉サービスは町以外からも、国・県等の公共機関や社会福祉協議会や他の社会福祉法人、民間事業者など様々な主体から提供されている。更に、介護保険や医療保険等の社会保障からのサービスについても、合わせて情報提供する必要がある。これらの情報の一元化は大変重要であり、積極的に推進していく必要があるが、一元化した情報から対象者に適した内容を選択し、分り易く提供するスキルを職員が取得する必要も感じる。						

# 事務事業評価シート(平成28年度実績)

担当部課等名	福祉保険課
まちづくりの方向性	1 生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	1-3 誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり
分野別方針	1 福祉・健康・保健
実施計画事業	地域福祉支援事業(No.3)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	民生委員児童委員経費	99.3	A
02	団体育成事業	98.4	A
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	・民生委員児童委員、保護司、遺族会の資質向上と担い手の発掘。		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	説明	地域福祉の推進は継続して実施する中で成果が図られるものである。ボランティアである民生委員児童委員等がより活動しやすい環境づくりを考慮しつつ、引き続き実施していく。	

方向性							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	引き続き委員の資質向上等を図りながら、事業を推進していく。						

◎評価者[担当主管部長]							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	高齢者世帯の増加や核家族化が進んでいること等により、民生委員児童委員が各地域で果たす役割は重要性を増しているが、同時に、民生委員への負担も増えて来ていると思われる。このことから資質の向上を図ると共に、何らかの支援を通して負担の軽減を図る必要があるのではないか。						

## 事務事業評価シート(平成28年度実績)

担当部課等名	福祉保険課
まちづくりの方向性	1 生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	1-3 誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり
分野別方針	1 福祉・健康・保健
実施計画事業	介護サービス推進事業(No.8)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	介護保険居宅サービス支援事業	15.6	A
02	高齢者緊急時対応経費	31.6	A
03	介護サービス等諸費給付事業	99.4	A
04	介護予防サービス等諸費給付事業	99.2	A
05	高額介護サービス費支給事業	95.4	A
06	特定入所者介護サービス費給付事業	95.3	A
07	高額医療合算介護サービス費支給事業	94.1	A
08	介護認定調査等事業	98.8	A
09	介護認定審査会運営事業	92.8	A
10	介護保険料賦課徴収事業	98.2	A
11	介護保険運営協議会事業	21.4	A
12	介護保険運営事業	77.3	A
13	介護保険趣旨普及事業	79.6	A
14	高齢者支援推進経費	26.7	B
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高額等わかりにくいサービスもあるため、パンフレット等を活用し説明する</li> <li>・認定者数が増加傾向のため、審査会の運営方法を検討する</li> </ul>		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	説明	介護保険法に定められている事業であるため、引き続き推進していく。	

方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	検討しながらも、引き続き推進していく。		

◎評価者[担当主管部長]

① 現状維持

② 改善して町が実施

③ 改善して町以外が実施

④ 廃止

意見等

検討しながらも、引き続き推進していく。

# 事務事業評価シート(平成28年度実績)

担当部課等名	福祉保険課
まちづくりの方向性	-
重点的方針	-
分野別方針	1 福祉・健康・保健
実施計画事業	障がい福祉情報提供推進事業(No.9)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	障がい福祉サービスの普及・啓発	-	B
02			
03			
04			
05			

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉サービスの情報発信方法の検討及び充実した情報の提供</li> <li>・町広報やホームページ等での周知徹底</li> <li>・各自治体や関係機関等と連携したうえでの普及・啓発の検討</li> </ul>
--------------	--

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	説明	窓口説明や広報、ホームページなどを活用し、制度の普及・啓発活動を行っており、一定の効果はある。しかしながら、情報量や情報発信という面では改善や検討の余地がある。

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	当事者や当事者団体の声を聞きながら、情報等の内容の充実を図り、普及・啓発を行っていく。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	福祉サービス情報の一元化と合わせて、今後の情報提供の在り方についても考えていく必要があるのではないかと。		

# 事務事業評価シート(平成28年度実績)

担当部課等名	福祉保険課
まちづくりの方向性	-
重点的方針	-
分野別方針	1 福祉・健康・保健
実施計画事業	障がい者地域生活支援事業(No.10)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	自立支援給付事業	98.4	A
02			
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉サービス利用者増加に伴う給付費増加の抑制及び補助金制度継続</li> <li>・サービス等利用計画に係る利用者への制度浸透及び計画作成事業者の開拓</li> <li>・利用者のニーズに伴う障害福祉サービスの情報提供やサービス等の検討</li> </ul>		

総合評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する                  B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する                  C: 事業全体を見直す必要がある                  D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)</p>	A
説明	障害者総合支援法により規定されている障害福祉サービスに係る給付事業であり、今後も障害者の生活の観点やその家族の介護負担軽減等などからも欠かせない事業である。	

方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	障害者総合支援法により規定されており、障害福祉サービスを提供するうえでは必須事業であるが、今後も国・県の制度を遵守し、また、サービス等利用計画の円滑な運用を進めていながら、障がい者にとって有益になるように事業を進めていく。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	目まぐるしく変わる障害者施策の中、根幹となる重要な事業なので、障がいのある方に必要なサービスを適正に給付することで、出来るだけ自立した生活が営めるようにしたい。そこで、相談にあたる職員の育成やサービス資源の確保を、引き続き進めていく必要があると思われる。		

# 事務事業評価シート(平成28年度実績)

担当部課等名	福祉保険課
まちづくりの方向性	-
重点的方針	-
分野別方針	1 福祉・健康・保健
実施計画事業	在宅障がい者支援事業(No.11)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	在宅障がい者援護事業	91.9	B
02	障がい者医療費給付補助事業	95.8	B
03	障がい者緊急時対応経費	1.1	B
04			
05			
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅障害者福祉手当の廃止等見直し</li> <li>・医療費助成制度に係る医療費抑制及び制度見直し</li> <li>・成年後見制度や日常生活自立支援事業の適正な運営の検討</li> </ul>		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	説明 在宅障害者の経済的負担の軽減と自立更生の一助として様々な事業を実施しており一定の効果があるが、町の実状に応じて改善等検討する必要がある。	

方向性							
<input type="checkbox"/>	① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	町の障がい者の実情に合わせて事業内容を検討するとともに、制度維持が必要なものについては方策を検討していきながら事業を進めていく。						

◎評価者[担当主管部長]							
<input type="checkbox"/>	① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	在宅障がい者支援事業並びに緊急時対応経費は、住み慣れた自宅で出来るだけ自立した生活を営むために必要性が高い事業だと思う。ただ、福祉手当では事業効果について検討する必要があるのではないか。また、障がい者医療給付補助事業は、障がいを有するために思うような収入が得られない方への負担軽減策としては有効だと思うが、収入の多い世帯に関しては財源確保が困難な状況の中、検討の余地があるのではないか。						



# 事務事業評価シート(平成28年度実績)

担当部課等名	福祉保険課
まちづくりの方向性	1 生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	1-4 「にのみやLife」の提案と発信
分野別方針	4 土地利用・都市基盤
実施計画事業	同居・近居推進事業(No.40)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	同居・近居推進事業	92.9	B
02			
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	・住宅改修等住居に関わる補助事業があるため、統合・住み分けの検討		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	説明	実績を上げるために、広報活動などのPRを行い、事業の周知を行いながら推進する。

方向性	
<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
意見等	同居を推進する立場にあるため、主体的に実施していく必要があるが、住宅改修等住居に関わる補助事業があるため、統合・住み分けなど改善していき、引き続き町が実施していく。

◎評価者[担当主管部長]	
<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
意見等	同居を推進する立場にあるため、主体的に実施していく必要があるが、住宅改修等住居に関わる補助事業があるため、統合・住み分けなど改善していき、引き続き町が実施していく。

# 事務事業評価シート(平成28年度実績)

担当部課等名	福祉保険課
まちづくりの方向性	2 環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	2-2 子育てと仕事の両立の推進
分野別方針	7 自治体運営
実施計画事業	平和推進事業(No.84)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	平和祈念事業	99.2	A
02	ガラスのうさぎ像平和と友情推進事業	81.0	A
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	・開催場所等の手法の検討		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	説明	事業の継続により町民の平和祈念への意識啓発が図られている。	

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	町の責務として戦没者の追悼と平和に対する意識高揚を継続して図っていく必要がある。今後も手法等を検討しながら同様に継続して実施する。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	第2次世界大戦が終って70年が経過した中で、悲惨な戦争で犠牲になった多くの国民のご冥福を祈ることは、町の責務であると考えます。		